年間授業計画

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　　芸術(美術科) 科目 彫刻

教　科： 芸術(美術科)　　科　目： 彫刻　　単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 2 組

教科担当者：（　　）

使用教科書：（　　）

教科　芸術(美術科)　　の目標：

【知識及び技能】美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに，独創的・創造的に表すことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに，独創的・創造的に表すことができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み，感性を磨き，美術文化の継承，発展，創造に寄与する態度を養う。

科目　彫刻　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
表現形式の特性について理解を深めるとともに，専門的な技能を身に付けるようにする。	表現及び鑑賞に関する創造的な思考力，判断力，表現力等を育成する。	彫刻表現の可能性を追求する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
前期	単元　石膏塑造摸刻(ベートーベンマスク) 【知識及び技能】粘土による塑造について理解を深め、ﾞｪｰﾄｰﾍﾞﾝﾏｽｸを深く観察し表現を工夫する。 【思考力、判断力、表現力等】　モチーフのイメージや空間を把握するための基礎として思考力・判断力・表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】　積極的に材料に触れ、アドバイスを取り入れてより良い制作活動に取り組む。	・指導事項　粘土と塑造の特性と形態の正確な把握について ・教材　石膏像　台座　粘土 ・一人１台端末の活用　未到着だが今後撮影し講評と振返りを入力する	○			○	【知識・技能】 粘土や塑造の特性を理解し的確に描写できたか 【思考・判断・表現】 ﾞｪｰﾄｰﾍﾞﾝﾏｽｸのイメージや空間を理解し正確な表現までできたか 【主体的に学習に取り組む態度】 参考作品や指導を作品に取り入れ工夫できたか。	○	○	○	13
	単元　手塑造(自分の手) 【知識及び技能】粘土による塑造について理解を深め、自分の手を深く観察し表現を工夫する。 【思考力、判断力、表現力等】　自分の手のイメージや空間を把握するための基礎として思考力・判断力・表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】　積極的に材料に触れ、工夫をし人の作品にアドバイスを入れ育む。	・指導事項　粘土と塑造の特性と形態の正確な把握について ・教材　自分の靴　楠　のこ義理 ・一人１台端末の活用　未到着だが今後撮影し講評と振返りを入力する	○			○	【知識・技能】 粘土や塑造の特性を理解し的確に描写できたか 【思考・判断・表現】 自分の手のイメージや空間を理解し正確な表現までできたか 【主体的に学習に取り組む態度】 参考作品や指導を作品に取り入れ工夫できたか。	○	○	○	39
後期	単元　友人像頭部塑造 【知識及び技能】粘土による塑造について理解を深め、友人の頭部を深く観察し表現を工夫する。 【思考力、判断力、表現力等】　友人の頭部のイメージや空間を把握するための基礎として思考力・判断力・表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】　積極的に材料に触れ、工夫をし人の作品にアドバイスを入れ育む。	・指導事項　粘土と塑造の特性と形態の正確な把握について ・教材　友人の頭部　台座　粘土 ・一人１台端末の活用　未到着だが今後撮影し講評と振返りを入力する	○			○	【知識・技能】 粘土や塑造の特性を理解し的確に描写できたか。 【思考・判断・表現】 友人の頭部のイメージや空間を理解し正確な表現までできたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 参考作品や指導を作品に取り入れ工夫できたか。	○	○	○	13
	単元　木彫(自分の靴) 【知識及び技能】楠による木彫について理解を深め、自分の靴を深く観察し表現を工夫する。 【思考力、判断力、表現力等】　自分の靴のイメージや空間を把握するための基礎として思考力・判断力・表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】　積極的に材料に触れ、工夫をし人の作品にアドバイスを入れ育む。	・指導事項　楠と木彫の特性と形態の正確な把握について ・教材　自分の靴　楠　鋸　鑿 ・一人１台端末の活用　未到着だが今後撮影し講評と振返りを入力する	○			○	【知識・技能】 楠や木彫の特性を理解し的確に描写できたか 【思考・判断・表現】 自分の靴のイメージや空間を理解し正確な表現までできたか 【主体的に学習に取り組む態度】 参考作品や指導を作品に取り入れ工夫できたか。	○	○	○	40 合計 105